

新旧文書 PowerPoint 版 操作手順書



HULINKS

目次

1	はじめに	3
1.1	本マニュアルの構成	3
2	概要	4
2.1	新旧文書とは	4
2.1.1	改訂前と改訂後の 2 つの文書の差分を抽出する【2 文書選択】	5
2.2	設定ツールとは.....	6
2.3	動作環境.....	7
2.4	比較する際の注意点	7
3	画面説明	8
3.1	PowerPoint を起動したとき	8
3.1.1	ファイルグループ	8
3.1.2	設定グループ	10
3.1.3	情報グループ	10
3.2	2 文書比較結果画面	11
3.3	設定ツール	12
3.3.1	メニューボタン	12
3.3.2	設定の選択、追加、削除.....	14
3.3.3	基本設定タブ	15
3.3.4	文字の差分タブ	16
3.3.5	画像の差分タブ	17
4	操作説明	18
4.1	改訂前と改訂後の 2 つの文書の差分を抽出する	18
4.2	設定ツールの操作説明.....	19
4.2.1	設定ツールの起動方法	19
4.2.2	設定を追加する	20
4.2.3	設定を削除する	21
4.2.4	設定を保存する	22
4.2.5	設定を比較結果に適用する	23
4.2.6	設定を外部に出力する	24
4.2.7	外部から設定ファイルを取り込んで登録する	24
4.2.8	作業フォルダを変更する	25
4.2.9	作業フォルダ内の比較結果ファイルを自動的に削除しないようにする	26
5	エラー発生時の対処.....	28
5.1	PowerPoint の画面で表示されるエラー	28
5.2	設定ツールで表示されるエラー	29

1 はじめに

このたびは、弊社「新旧文書 PowerPoint 版」をご利用いただき、誠にありがとうございます。本ソフトは、改訂前の PowerPoint ファイルと改訂後の PowerPoint ファイルを比較して差分のある箇所を自動でわかりやすく表示するソフトです。

本ソフトは、Microsoft PowerPoint（以下 PowerPoint）のアドインとして使用するプログラムです。

本マニュアルはソフトの機能概要及び操作手順を説明していますので、ご使用前に必ず本マニュアルをお読みください。

PowerPoint 自体の操作説明は、PowerPoint 添付のマニュアルをご覧ください。

※アドイン

「ソフトウェアに追加される拡張機能」を意味します。PowerPoint のアドインは起動時、画面上部にタブが追加され、タブをクリックすると追加された機能を表示します。

1.1 本マニュアルの構成

本マニュアルは、次の 5 章から構成されています。

- 1 章 はじめに
- 2 章 概要
- 3 章 画面説明
- 4 章 操作説明
- 5 章 エラー発生時の対処

2 概要

2.1 新旧文書とは

新旧文書は、改訂前文書と改訂後文書を比較して違いを検出する PowerPoint のアドインです。

- 1) 比較すること
 - ① 文字及び文字列
 - ② 画像や動画などのオブジェクトの位置、サイズなどの内部パラメータ
 - ③ 表の中に記入された文字及び文字列
 - ④ 図形
 - ⑤ スマートアート（スマートアートに挿入された画像やデザインは比較しません）
 - ⑥ フッター（マスターに追加されたフッターは比較しません）
- 2) 比較しないこと
 - ① 書式情報（フォントや文字色、太字、斜体、インデントなどの文字の体裁）
 - ② グラフ
 - ③ 数式
 - ④ 段落設定で挿入した段落番号、箇条書きの番号
 - ⑤ 用紙サイズ、ページの余白
 - ⑥ 縦書き、横書き
 - ⑦ マスター（テーマ）
 - ⑧ コメント
 - ⑨ ノートの内容
 - ⑩ アニメーション
 - ⑪ スマートアートに挿入された画像、デザイン
 - ⑫ ページ番号

比較する際の注意点は「2.4 比較する際の注意点（p7）」を参照してください。

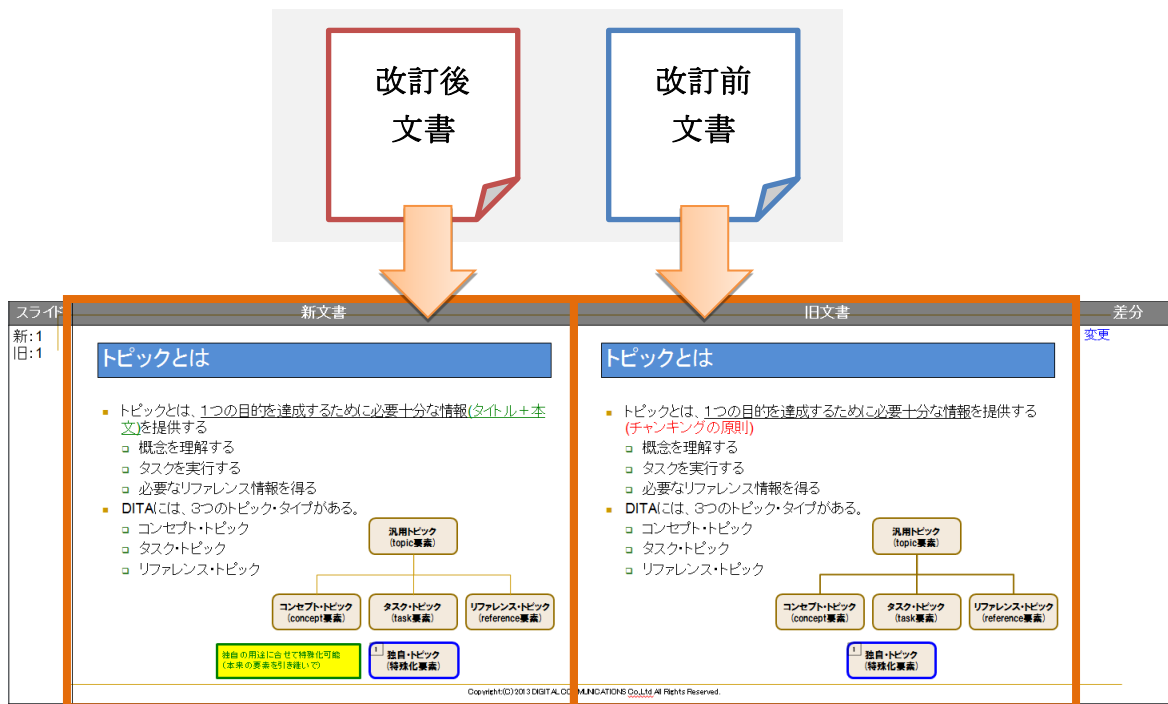
新旧文書の主な機能について、説明します。

- ◆ 改訂前と改訂後の 2 つの文書の差分を抽出する【2 文書選択】

2.1.1 改訂前と改訂後の2つの文書の差分を抽出する【2文書選択】

旧 PowerPoint ファイルと新 PowerPoint ファイルを同時に読み込んで比較し、ファイルの差分（変更部分）を表示します。比較はスライドごとに行われます。

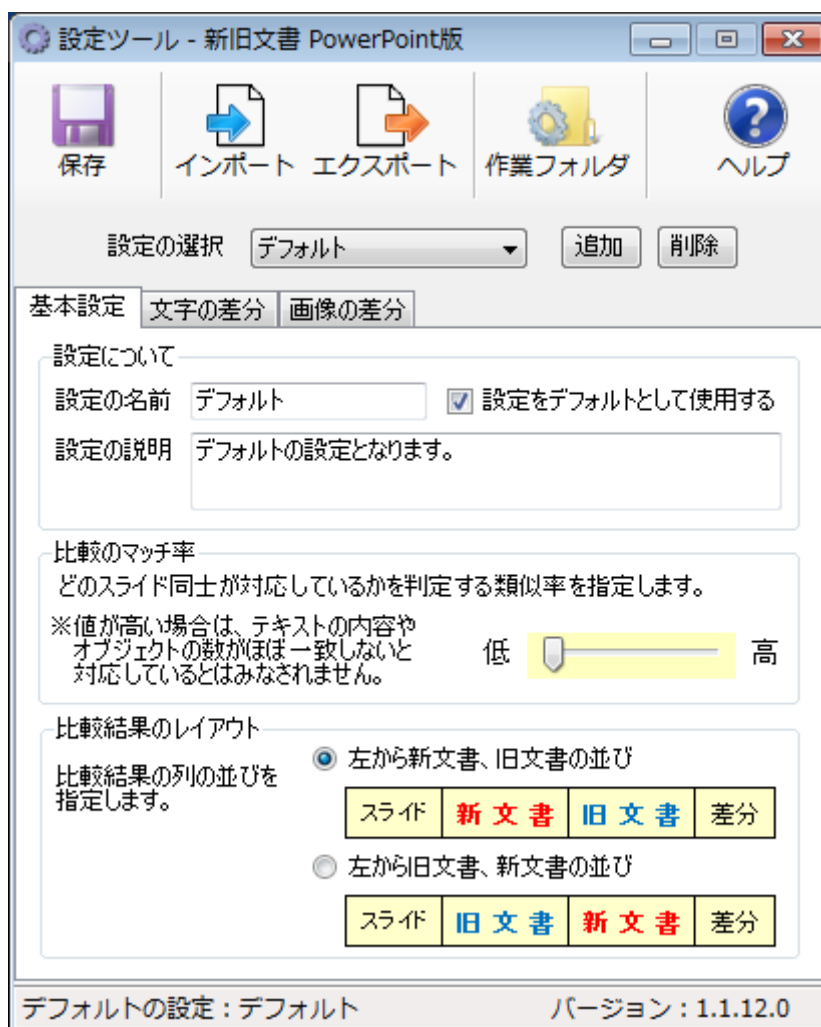
機能のイメージは以下ようになります。



操作の詳細については、「4.1 改訂前と改訂後の2つの文書の差分を抽出する」(p18)を参照してください。

2.2 設定ツールとは

設定ツールは、2 文書選択で比較を行った結果の「追加」「削除」「変更」にかかわる文字のスタイルセット（フォント、太字、斜体、下線、表示文字、フォントの色）や、画像のスタイルセット（線種、線の太さ、線の色）、比較結果のレイアウトを設定するためのツールです。



本ツールを使用すれば、ユーザーの用途に合わせて差分文字のスタイルや比較結果のレイアウトなどを設定することができます。

上の画像で示すように、基本設定、文字の差分、画像の差分を設定して、複数の設定を追加していくことができます。

ボタンなどの機能の説明については「3.3 設定ツール」（p12）を参照してください。
操作の詳細については、「4.2 設定ツールの操作説明」（p19）を参照してください。

[メモ]

- ・設定ツールは、Windows のスタートメニューに登録されています。

2.3 動作環境

No	項目	仕様
1	動作可能な OS	Microsoft Windows 7 Microsoft Windows 8.1 Microsoft Windows 10 ※32 ビット版、64 ビット版両方の OS に対応しています。
2	動作可能なソフトウェア	Microsoft PowerPoint 2010 / 2013 / 2016 ※32 ビット版、64 ビット版両方の PowerPoint に対応しています。
3	その他必要な環境	.NET Framework 4.0 VSTO 4.0
4	使用できる文書	PowerPoint プレゼンテーション (pptx 形式) PowerPoint97-2003 プレゼンテーション (ppt 形式)

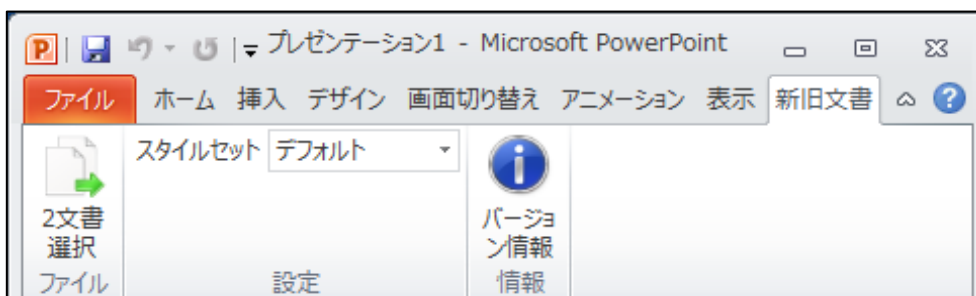
2.4 比較する際の注意点

- ◆ ハイパーリンクの文字列は比較しますが、文字に色がつかないため、比較結果で差分箇所をわかりやすく表示できない場合があります。設定ツールで文字の差分のスタイルを太字または斜体にすると差分箇所がわかりやすく表示できます。設定ツールの画面説明については「3.3 設定ツール (p12)」を参照してください。設定ツールの操作説明については「4.2 設定ツールの操作説明 (p19)」を参照してください。
- ◆ 動画はトリミング情報等、一部比較ができない設定があります。
- ◆ フッターのページ番号のような、自動更新されるテキストを含んだスライドの比較では、見た目が似ていても「スライド追加」、「スライド削除」と判定される場合があります。設定ツールのマッチ率を下げると、比較できる可能性が高くなります。設定ツールの画面説明については「3.3 設定ツール (p12)」を参照してください。設定ツールの操作説明については「4.2 設定ツールの操作説明 (p19)」を参照してください。
- ◆ ActiveX コントロール、インクは対応しておりません。比較結果に含まれる ActiveX コントロール、インクは正しく表示されない可能性があります。
- ◆ Microsoft Word、Excel のファイルがオブジェクトとして挿入されているファイルの比較は正しく行われたい可能性があります。
- ◆ 暗号化されたファイルは比較することができません。暗号化されたファイルを比較する場合は、あらかじめ暗号化を解除してから比較してください。
- ◆ スライドからはみ出している図形やオブジェクトは正しく比較できない場合があります。

3 画面説明

3.1 PowerPoint を起動したとき

PowerPoint を起動すると、[新旧文書]タブが追加されています。[新旧文書]タブをクリックすると、次の画面のグループとボタンが表示されます。



3.1.1 ファイルグループ

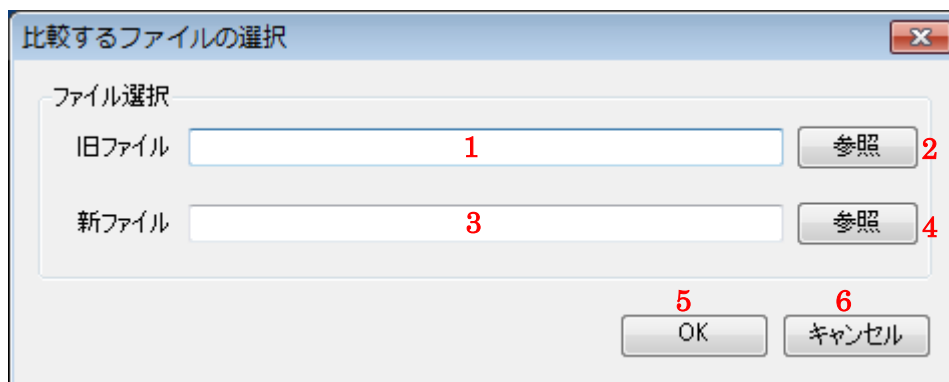
ファイルの選択や、比較を行うグループです。



No	項目	仕様
1	2 文書選択	改訂前と改訂後の文書を開いて、差分を抽出します。 ボタンは常に表示されます。 ボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されます。ファイル選択画面については「3.1.1.1 2 文書選択 ファイル選択画面 (p9)」を参照して下さい。

3.1.1.1 2 文書選択 ファイル選択画面

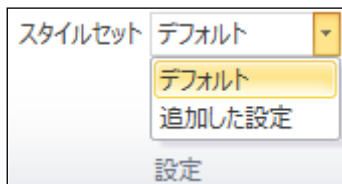
[2 文書選択]ボタンをクリックした時に表示される画面です。旧ファイル（改訂前文書）と新ファイル（改定後文書）を選択します。



No	項目	内容
1	旧ファイル	旧ファイル（改訂前文書）のファイル名を指定します。キーボードからの手動入力が可能です。
2	（旧ファイル）参照	クリックすると、ファイル選択画面が表示されます。ファイルを指定し、[開く]ボタンをクリックすると、旧ファイルのテキストボックスに指定したファイル名が表示されます。
3	新ファイル	新ファイル（改訂前文書）のファイル名を指定します。キーボードからの手動入力が可能です。
4	（新ファイル）参照	クリックすると、ファイル選択画面が表示されます。ファイルを指定し、[開く]ボタンをクリックすると、新ファイルのテキストボックスに指定したファイル名が表示されます。
5	OK	選択した旧ファイルと新ファイルの差分（変更部分）を表示します。 入力したファイルが存在しない場合、または未入力の場合は、メッセージ画面を表示します。この場合、文書の比較は行いません。
6	キャンセル	ファイル選択画面を閉じます。

3.1.2 設定グループ

設定ツールで設定した差分スタイルを選択するグループです。



No	項目	仕様
1	スタイルセット	<p>比較結果を作成した時の差分（「追加」「削除」「変更」）の文字スタイルや、比較結果のレイアウトを変更するスタイルセットを選択します。</p> <p>スタイルセットは設定ツールで追加、削除することができます。</p> <p>設定されているスタイルセットの数だけ選択肢が表示されますが、設定が1つしかない場合、[設定]グループは無効となります。</p>

3.1.3 情報グループ

バージョン情報を確認するグループです。



No	項目	仕様
1	バージョン情報	<p>クリックすると、バージョン情報画面が表示され、バージョン番号を確認することができます。</p> <div data-bbox="730 1478 1189 1843" data-label="Image"> </div> <p>ボタンは常に表示されます。</p>

3.2 2 文書比較結果画面

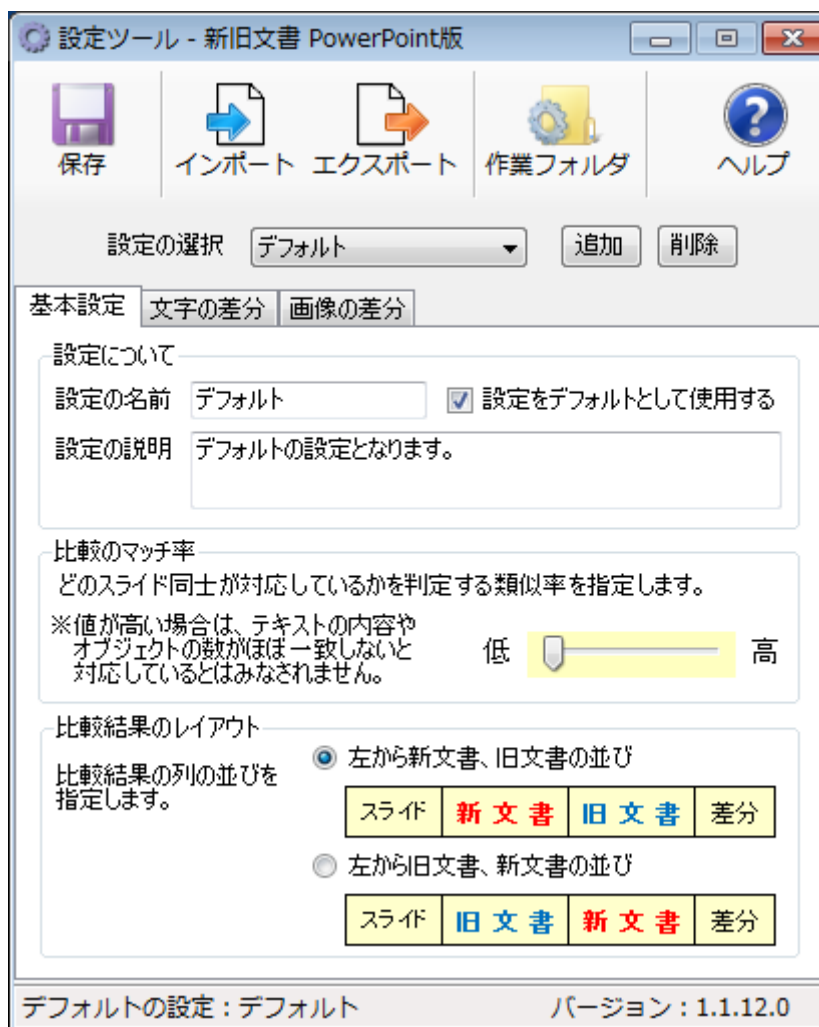
2 文書比較を行った結果の画面について説明します。

スライド	新文書	旧文書	差分
新:1 旧:1	<p>トピックとは</p> <ul style="list-style-type: none"> トピックとは、1つの目的を達成するために必要十分な情報(タイトル+本文)を提供する <ul style="list-style-type: none"> 概念を理解する タスクを実行する 必要なリファレンス情報を得る DITAには、3つのトピック・タイプがある。 <ul style="list-style-type: none"> 概念・トピック タスク・トピック リファレンス・トピック 	<p>トピックとは</p> <ul style="list-style-type: none"> トピックとは、1つの目的を達成するために必要十分な情報を提供する(チャンキングの原則) <ul style="list-style-type: none"> 概念を理解する タスクを実行する 必要なリファレンス情報を得る DITAには、3つのトピック・タイプがある。 <ul style="list-style-type: none"> 概念・トピック タスク・トピック リファレンス・トピック 	変更

No	項目	仕様
1	スライド列	現在比較している新ファイル（改定後文書）のスライド番号と、旧ファイル（改定前文書）のスライド番号を表示します。
2	新文書列	ファイル選択画面で新ファイルとして選択したスライドが表示されます。
3	旧文書列	ファイル選択画面で旧ファイルとして選択したスライドが表示されます。
4	差分列	新ファイルと旧ファイルの差分を表示します。この列には「追加」「削除」「変更」「スライド追加」「スライド削除」のいずれかの文字が表示されます。「追加」「削除」「変更」の表示方法については差分結果設定ツールで編集することが可能です。
5	フラグ	<p>「変更」と判定されたオブジェクトの左上に表示されます。</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>1 独自・トピック (特殊化要素)</p> </div> <p>新文書列と旧文書列の対応する（比較対象の）オブジェクトに、同じ番号のフラグが表示されます。フラグの番号は1から振られます。</p> <p>「追加」「削除」と判定されたオブジェクトには、フラグは表示されません。</p>

3.3 設定ツール

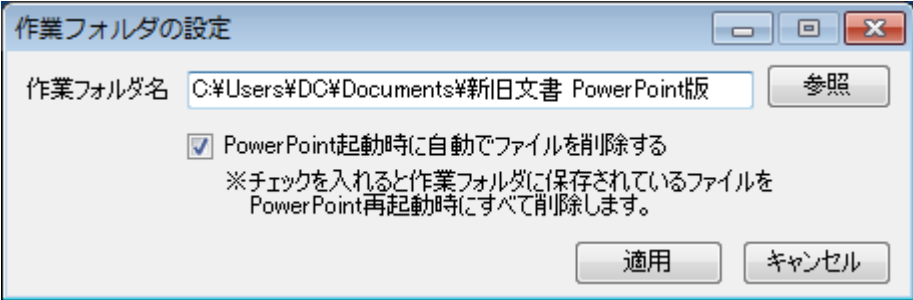
設定ツールは PowerPoint のアドインではなく、デスクトップのスタートメニューから起動する、個別のツールです。設定ツールを起動すると、次の画面が表示されます。



3.3.1 メニューボタン

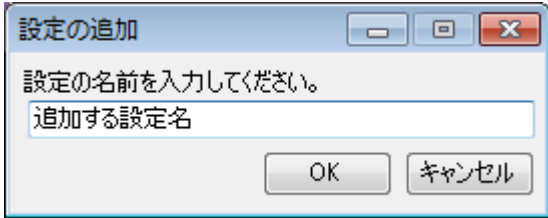


No	項目	仕様
1	保存	現在作成している設定を、すでにある設定に上書き保存します。
2	インポート	エクスポートで出力された設定 XML ファイルを読み込み、設定ツール画面に表示します。 クリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。
3	エクスポート	現在作成している設定を、名前を付けて保存します。 クリックすると、保存先選択ダイアログが表示されます。

No	項目	仕様
4	作業フォルダ	<p>クリックすると、作業フォルダの設定画面が表示されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 作業フォルダ名 比較結果を保存するフォルダを指定します。テキストボックスに直接入力することもできますが、[参照]ボタンをクリックした時に表示されるフォルダ選択ダイアログでも、フォルダを指定できます。 ※フォルダが存在しない場合、[適用]ボタンは無効になります。 ◆ [PowerPoint 起動時に自動でファイルを削除する] チェックを入れると、作業フォルダに保存されている全てのファイルを、次回 PowerPoint 起動時に自動で削除します。 ◆ [適用]ボタン 作業フォルダ名とファイルの自動削除のチェック状態を保持したまま、作業フォルダの設定画面を閉じます。 ◆ [キャンセル]ボタン 作業フォルダ名とファイルの自動削除のチェック状態を保持せずに、作業フォルダの設定画面を閉じます。
5	ヘルプ	設定ツールのマニュアルが起動します。

3.3.2 設定の選択、追加、削除



No	項目	仕様
1	設定の選択ドロップ ダウン	クリックすると作成した設定を選択することができます。 設定を選択すると、基本設定、文字の差分、画像の差分のタブの内容がその設定の内容で更新されます。
2	追加	<p>設定を新たに追加します。 クリックすると設定の追加画面が表示されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 設定の名前 追加する設定の名前を入力します。 ◆ [OK]ボタン 入力した設定名で、新しい設定を追加します。 ◆ [キャンセル]ボタン 設定を追加せずに、設定の追加画面を閉じます。
3	削除	設定の選択ドロップダウンで選択している設定を削除します。 設定が1つしか存在しない場合、[削除]ボタンは無効となります。

3.3.3 基本設定タブ

基本設定
文字の差分
画像の差分

設定について

設定の名前 設定をデフォルトとして使用する

設定の説明

比較のマッチ率

どのスライド同士が対応しているかを判定する類似率を指定します。

※値が高い場合は、テキストの内容やオブジェクトの数がほぼ一致しないと対応しているとはみなされません。

低 高

比較結果のレイアウト

比較結果の列の並びを指定します。

左から新文書、旧文書の並び

スライド	新文書	旧文書	差分
------	-----	-----	----

左から旧文書、新文書の並び

スライド	旧文書	新文書	差分
------	-----	-----	----

No	項目	仕様
1	設定の名前	設定に名前を付けます。 <例>デフォルト、カラー印刷用、白黒印刷用、企画部
2	設定をデフォルトとして使用する	チェックを付けると、PowerPoint 起動時の「設定グループ」の初期値として使用されます。設定が 1 つしかない場合は、このチェックボックスは無効となります。 チェックを入れた設定名が、ステータスバーに表示されます。
3	設定の説明	設定情報に関する説明を入力します。
4	比較のマッチ率	新ファイルと旧ファイルの比較を行う際に、どのスライド同士が対応しているかを判定する類似率を指定します。左にスライダーを動かすと値が低くなり、右に動かすと高くなります。 比較を行った際に、似た内容なのに「異なったスライド」と判定された場合は、マッチ率を低くすると比較がうまくいく可能性があります。 ※あまりにも内容が異なると、マッチ率を下げても同じスライドと判定されない事があります。

No	項目	仕様
5	比較結果のレイアウト	<p>比較結果の列の並びを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ [左から新文書、旧文書の並び] 比較を行った際に表示される結果の列順が、左からスライド、新文書、旧文書、差分となります。 ◆ [左から旧文書、新文書の並び] 比較を行った際に表示される結果の列順が、左からスライド、旧文書、新文書、差分となります。

3.3.4 文字の差分タブ



No	項目	内容
1	フォント名	<p>差分の文字のフォントを変更する設定です。 コンピュータのフォントフォルダにインストールされているフォントの種類の中からフォント名 (MS 明朝、MS ゴシック等) を選択します。 ※[指定しない]を指定すると、元の文書のフォントと同じフォントで差分が表示されます。</p>
2	太字	チェックを付けると差分の文字が“太字”で表示されます。
3	斜体	チェックを付けると差分の文字が“斜体”で表示されます。
4	下線	チェックを付けると差分の文字に“下線”が引かれます。
5	差分列表示文字	比較結果の差分列に表示する文字を指定します。

No	項目	内容
6	文字サイズ	差分の文字サイズを指定します。設定可能範囲は 0.0～100.0pt です。 ※0 を指定した場合は、元の文書の文字サイズと同じサイズで差分が表示されます。
7	文字色	フォントの色を指定します。[変更]ボタンを押して表示されたフォントの候補の中から選択した色がパネルに表示されます。
8	指定しない (フォントの色)	チェックを外すと[変更]ボタンが有効になり、フォントの色を選択することができるようになります。 チェックを入れた場合、色のパネルと[変更]ボタンが無効となり、比較結果の差分は元の文書の色のままで表示されます。
9	変更	クリックすると、フォントの色の候補が表示されます。

3.3.5 画像の差分タブ



No	項目	内容
1	線の種類	枠線の種類を指定します。実線、点線（丸）、点線（角）、破線、一点鎖線、長破線、長鎖線、長二点鎖線の中から一つを選択します。
2	線の太さ	枠線の太さを指定します。設定可能範囲は 0.5～10.0pt です。
3	線の色	枠線の色を指定します。[変更]ボタンを押して表示された候補の中から選択した色がパネルに表示されます。
4	変更	クリックすると、線の色候補が表示されます。

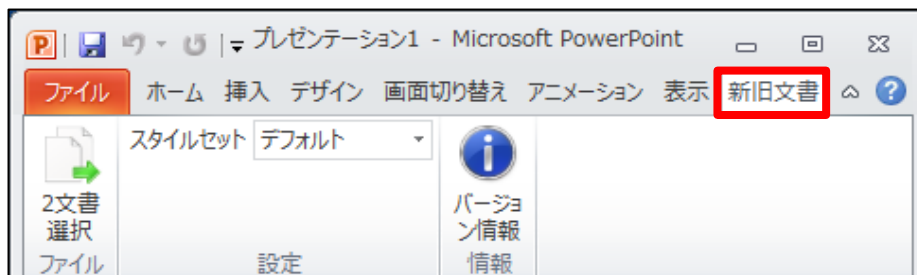
4 操作説明

4.1 改訂前と改訂後の2つの文書の差分を抽出する

① PowerPoint を起動します。

② [新旧文書]タブをクリックします。

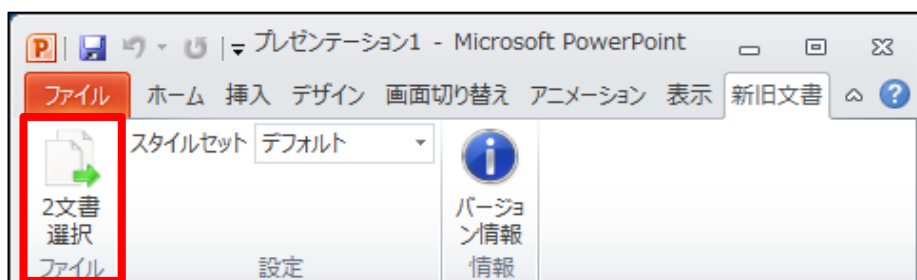
⇒メニューが表示されます。



【PowerPoint：メイン画面】

③ メニューの「ファイル」グループの[2 文書選択]ボタンをクリックします。

⇒比較するファイルの選択画面が表示されます。

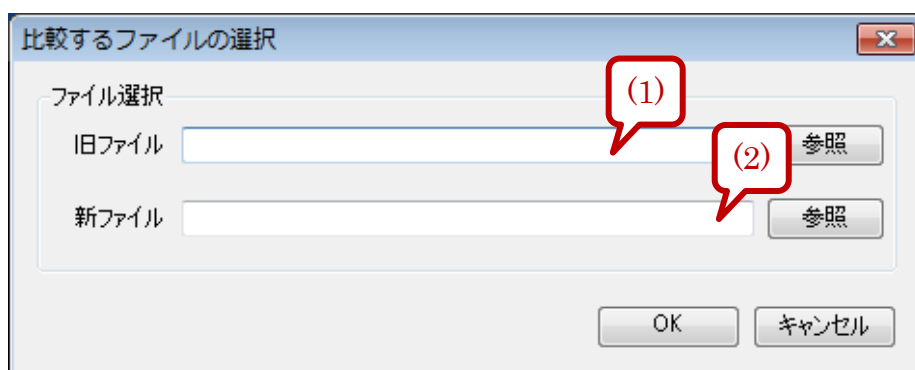


【PowerPoint：メイン画面】

④ ファイルの選択を行います。

(1) 旧ファイルのテキストボックスに改訂前文書を指定します。

(2) 新ファイルのテキストボックスに改訂後文書を指定します。

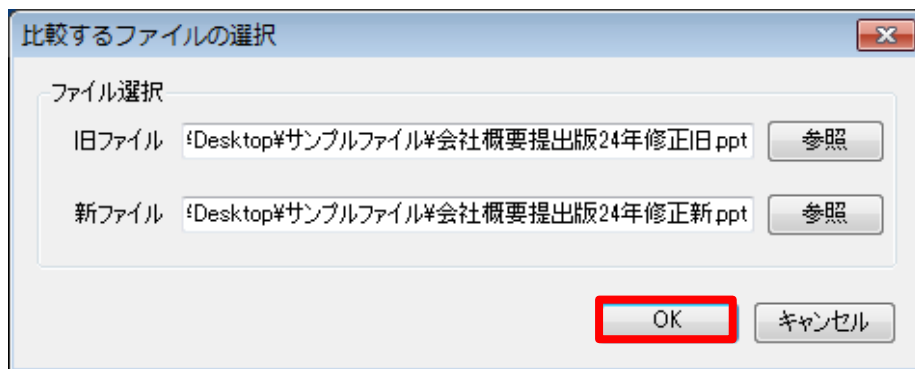


【PowerPoint：比較するファイルの選択画面】

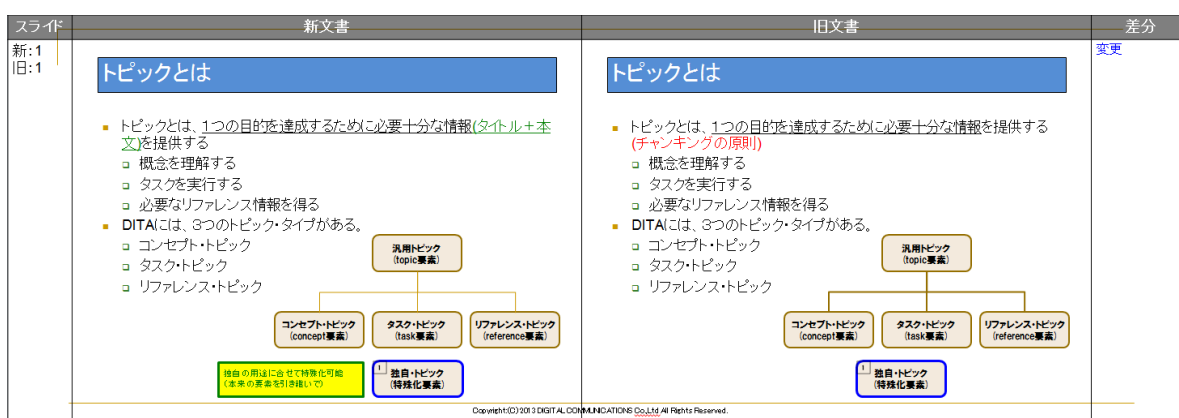
- ⑤ 設定の内容に問題がなければ、[OK]ボタンをクリックします。

⇒比較結果の文書が表示されます。

※入力したファイルが存在しない場合や未入力の場合、エラーの画面を表示します。この場合、比較結果の文書は作成されません。



【PowerPoint：比較するファイルの選択画面】



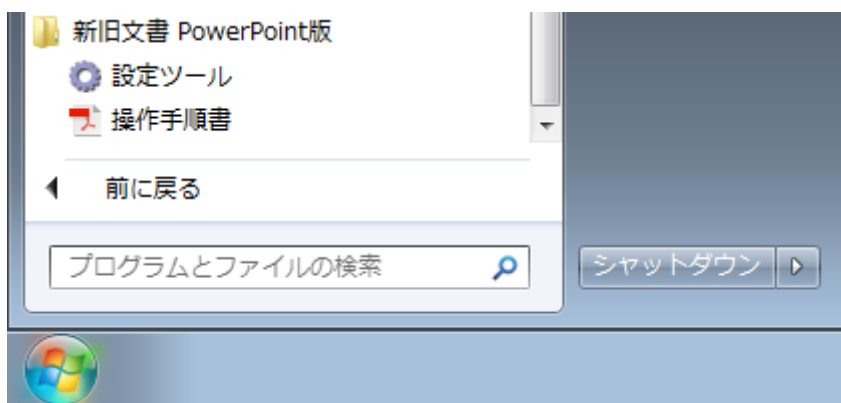
【PowerPoint：比較結果】

4.2 設定ツールの操作説明

4.2.1 設定ツールの起動方法

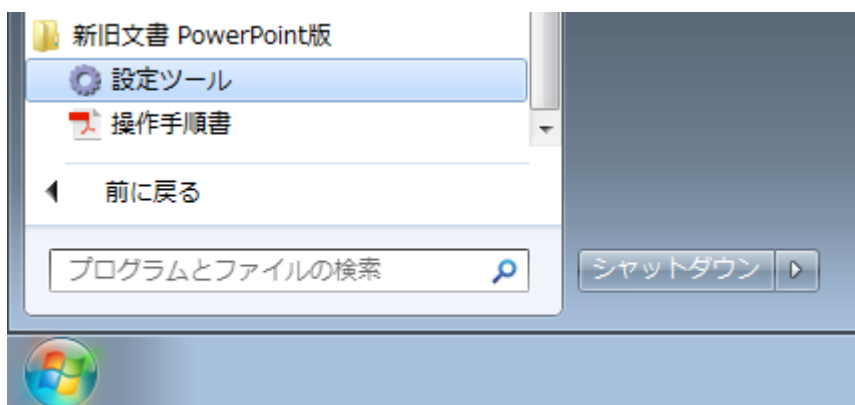
- ① [スタート]メニューをクリックします。

- ② [新旧文書 PowerPoint 版]をクリックします。
⇒フォルダが開き、メニューが表示されます。



【デスクトップ】

- ③ [設定ツール]をクリックします。
⇒設定ツールが起動します。

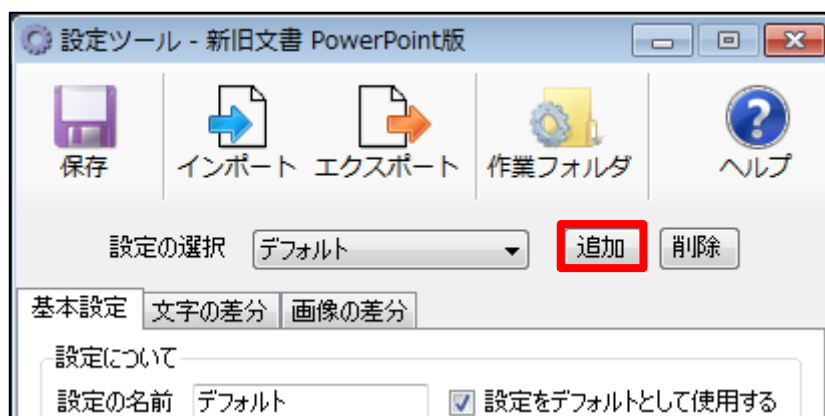


【デスクトップ】

4.2.2 設定を追加する

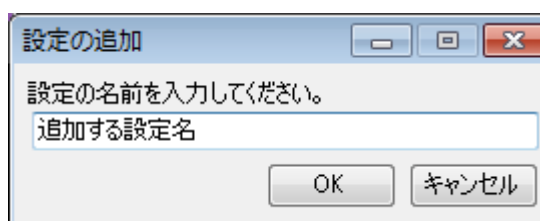
- ① 設定ツールを起動します。

- ② [追加]ボタンをクリックします。
⇒設定の追加画面が表示されます。



【設定ツール：メイン画面】

- ③ テキストボックスに設定の名前を入力します。

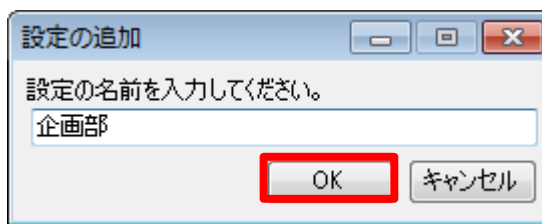


【設定ツール：設定の追加画面】

- ④ 設定の内容に問題がなければ、[OK]ボタンをクリックします。

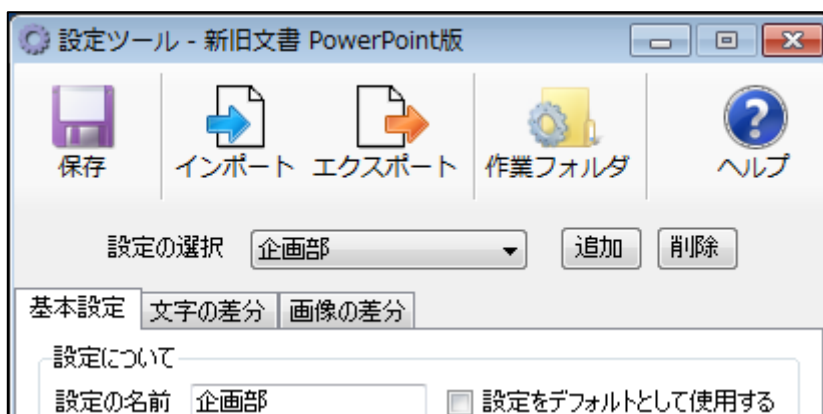
※同じ設定名がすでに追加されている場合は、確認メッセージが表示されます。

⇒設定が追加されます。



【設定ツール：設定の追加画面】

- ⑤ 指定した名前で設定が追加されます。

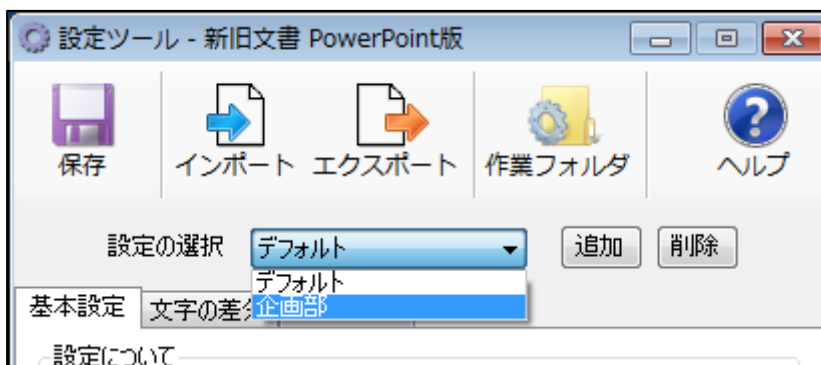


【設定ツール：メイン画面】

4.2.3 設定を削除する

- ① 設定ツールを起動します。

- ② [設定の選択]のドロップダウンで、削除したい設定を選択します。

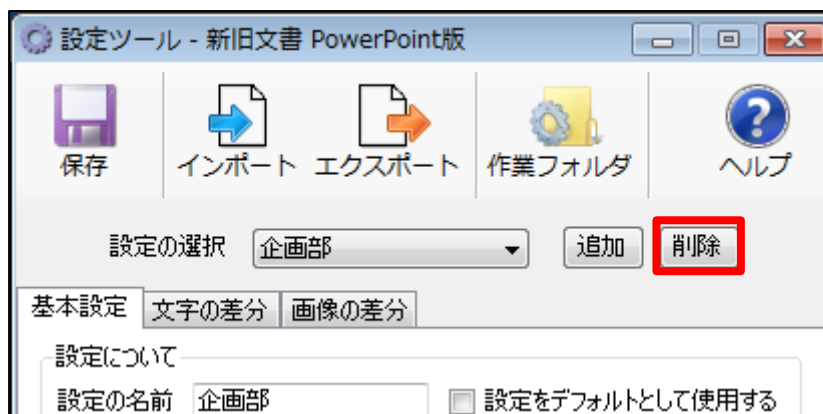


【設定ツール：メイン画面】

③ [削除]ボタンをクリックします。

⇒確認メッセージが表示されます。

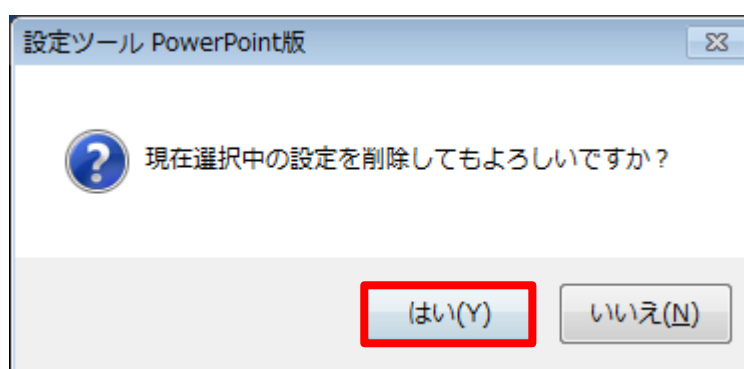
※設定が1つしか存在しない場合、[削除]ボタンは無効になります。



【設定ツール：メイン画面】

④ 削除してもいい場合は、[はい]をクリックします。

⇒設定が削除されます。



【設定ツール：確認メッセージ】

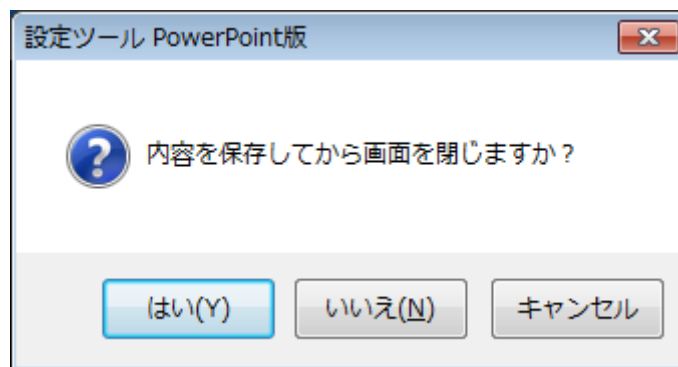
4.2.4 設定を保存する

設定ツールで内容を変更した場合は、必ず[保存]ボタンをクリックしてください。



【設定ツール：メイン画面】

また、設定ツールの画面を閉じようとする時、保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。



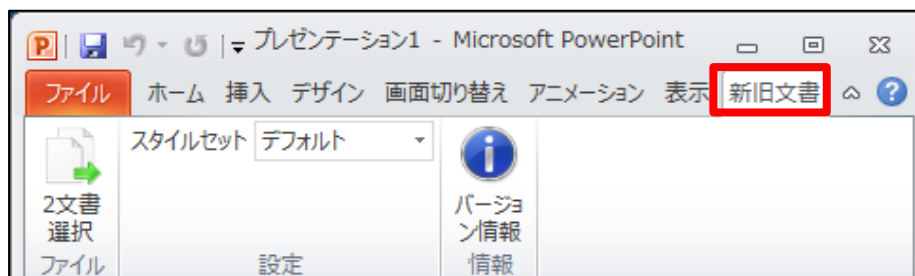
- ◆ [はい]ボタンをクリックすると、設定の内容を保存して、画面を閉じます。
- ◆ [いいえ]ボタンをクリックすると、設定の内容を保存せずに画面を閉じます。
- ◆ [キャンセル]ボタンをクリックすると、設定を保存せず、画面も閉じません。

4.2.5 設定を比較結果に適用する

① 設定ツールで複数の設定を作成し、保存した状態で PowerPoint を起動します。

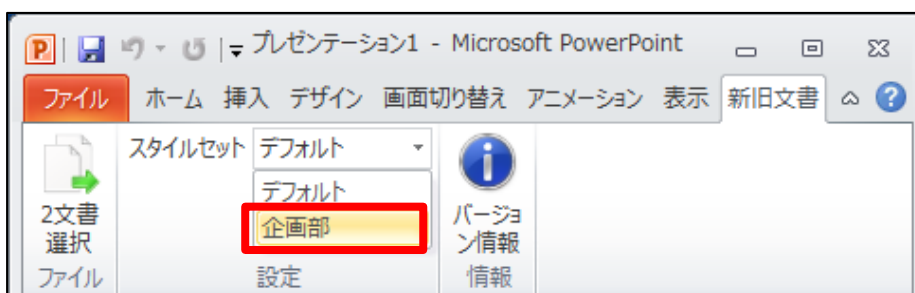
② [新旧文書]タブをクリックします。

⇒設定が複数ある場合、メニューの「設定」グループが有効な状態になります。



【PowerPoint：メイン画面】

③ [スタイルセット]のドロップダウンで比較結果に適用したい設定を選択します。



【PowerPoint：メイン画面】

④ [2 文書選択]で比較を行います。

スライド	新文書	旧文書	差分
新:1 旧:1	<p>トピックとは</p> <ul style="list-style-type: none"> トピックとは、1つの目的を達成するために必要十分な情報(タイトル+本文)を提供する <ul style="list-style-type: none"> 概念を理解する タスクを実行する 必要なリファレンス情報を得る DITAには、3つのトピックタイプがある。 <ul style="list-style-type: none"> コンセプトトピック タスクトピック リファレンストピック 	<p>トピックとは</p> <ul style="list-style-type: none"> トピックとは、1つの目的を達成するために必要十分な情報を提供する(チャンキングの原則) <ul style="list-style-type: none"> 概念を理解する タスクを実行する 必要なリファレンス情報を得る DITAには、3つのトピックタイプがある。 <ul style="list-style-type: none"> コンセプトトピック タスクトピック リファレンストピック 	変更

【PowerPoint：比較結果】

4.2.6 設定を外部に出力する

① 設定ツールを起動します。

② [エクスポート]ボタンをクリックします。

⇒出力先を指定するダイアログが表示されます。



【設定ツール：メイン画面】

③ ダイアログで出力先のファイル名を指定し、[保存]ボタンをクリックします。

⇒指定したファイル名で設定が出力されます。

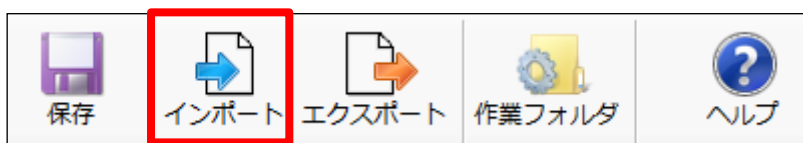
※ファイル名の拡張子は xml としてください。

4.2.7 外部から設定ファイルを取り込んで登録する

① 設定ツールを起動します。

② [インポート]ボタンをクリックします。

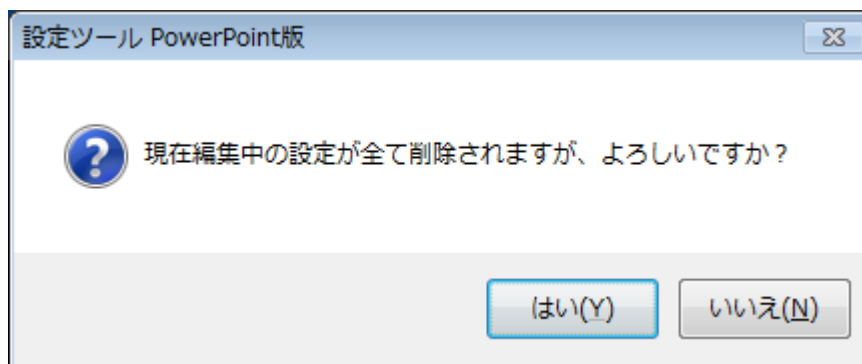
⇒取り込むファイル名を指定するダイアログが表示されます。



【設定ツール：メイン画面】

③ ダイアログで、取り込む XML ファイル名を指定し、[開く]ボタンをクリックします。
⇒確認メッセージが表示されます。

④ [はい]ボタンをクリックすると、画面が閉じ、設定ツールの内容が更新されます。
[いいえ]をクリックすると、設定を取り込まずに設定ツールの画面に戻ります。



【設定ツール：確認メッセージ】

※取り込んだファイルが設定 XML の形式と異なっていた場合は、エラーメッセージが表示されます。

4.2.8 作業フォルダを変更する

① 設定ツールを起動します。

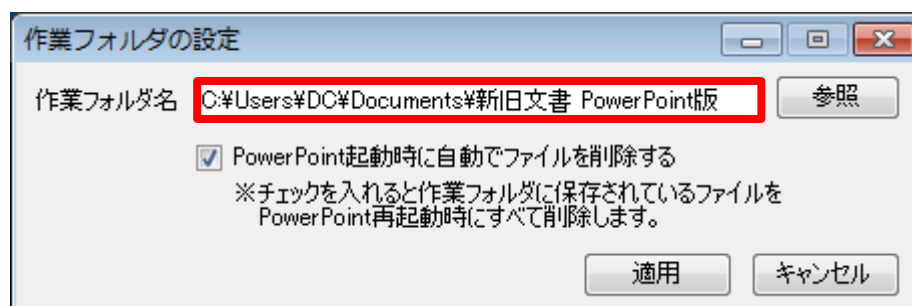
② [作業フォルダ]ボタンをクリックします。



【設定ツール：メイン画面】

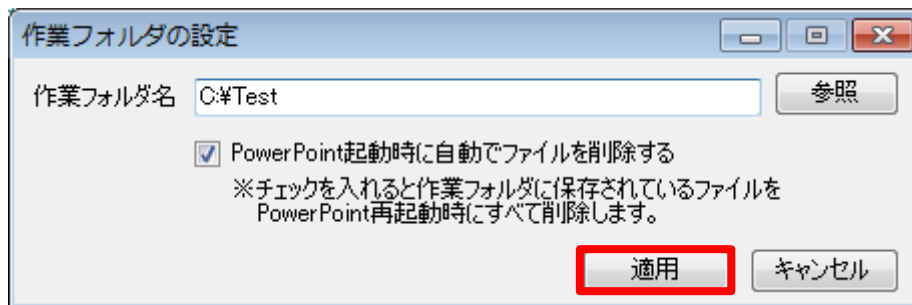
⇒作業フォルダの設定画面が表示されます。

③ [作業フォルダ名]のテキストボックスに新しい作業フォルダ名を入力します。



【設定ツール：作業フォルダの設定画面】

- ④ [適用]ボタンをクリックします。
⇒作業フォルダの設定画面が閉じます。



【設定ツール：作業フォルダの設定画面】

- ⑤ [保存]ボタンをクリックします。
⇒作業フォルダが指定したフォルダに変更されます。



【設定ツール：メイン画面】

4.2.9 作業フォルダ内の比較結果ファイルを自動的に削除しないようにする

- ① 設定ツールを起動します。

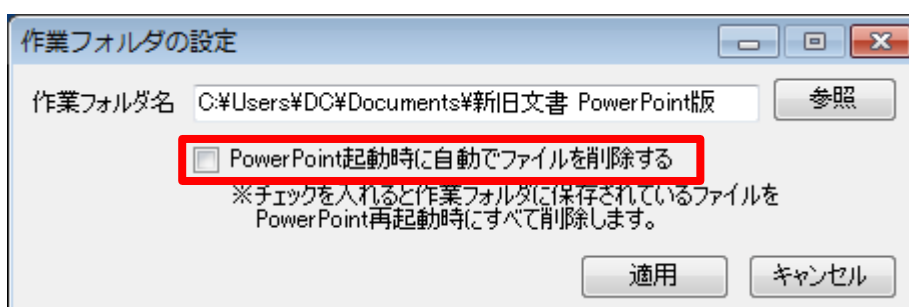
- ② [作業フォルダ]ボタンをクリックします。

⇒作業フォルダの設定画面が表示されます。



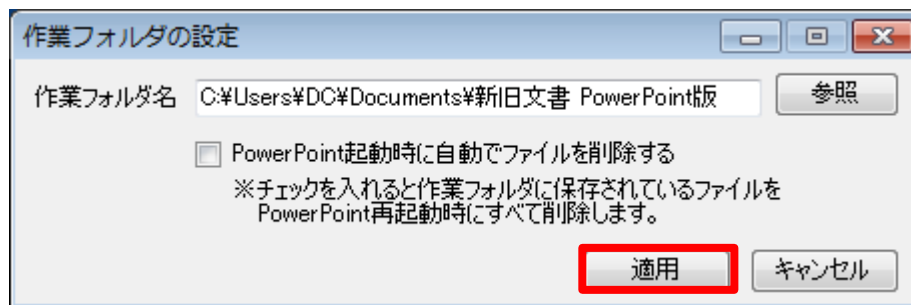
【設定ツール：メイン画面】

- ③ [PowerPoint 起動時に自動でファイルを削除する]チェックボックスのチェックを外します。



【設定ツール：作業フォルダの設定画面】

- ④ [適用]ボタンをクリックします。
⇒作業フォルダの設定画面が閉じます。



【設定ツール：作業フォルダの設定画面】

- ⑤ [保存]ボタンをクリックします。
⇒PowerPoint を起動したときに、作業フォルダ内の比較結果ファイルは自動的に削除されなくなります。



【設定ツール：メイン画面】

5 エラー発生時の対処

5.1 PowerPoint の画面で表示されるエラー

エラーメッセージ	ファイルを選択してください。
原因	比較するファイルの選択画面で、旧ファイルまたは新ファイルを指定しないまま [OK] ボタンをクリックしました。
対処方法	旧ファイルと新ファイルを指定してから [OK] ボタンをクリックして下さい。

エラーメッセージ	選択したファイルが存在しません。
原因	比較するファイルの選択画面で、旧ファイルまたは新ファイルに存在しないファイル名を指定し、[OK] ボタンをクリックしました。
対処方法	存在する旧ファイルと新ファイルを指定し、 [OK] ボタンをクリックして下さい。

エラーメッセージ	新ファイルと旧ファイルに同じファイルを選択しています。
原因	比較するファイルの選択画面で、旧ファイルと新ファイルに同じファイル名を指定し、[OK] ボタンをクリックしました。
対処方法	異なるファイルを旧ファイルと新ファイルに選択し、[OK] ボタンをクリックして下さい。

エラーメッセージ	比較に失敗しました。 システム内部エラーが発生しました。
原因	内部エラーが発生しました。
対処方法	原因を調査しますので、可能でしたら比較に失敗したファイルを弊社までお送りください。

エラーメッセージ	ファイルが暗号化されているか、ファイルが壊れています。 暗号化している場合はパスワードを解除してから比較してください。
原因	新ファイルまたは旧ファイルに暗号化されたファイルか、壊れたファイルが指定されているため、比較できません。
対処方法	ファイルが壊れていないか確認してください。 暗号化している場合はパスワードを解除してから比較してください。

エラーメッセージ	比較ファイルにスライドがないので比較できませんでした。
原因	新ファイルまたは旧ファイルにスライドのないファイルが指定されているため、比較できません。
対処方法	スライドのあるファイルを比較してください。

5.2 設定ツールで表示されるエラー

エラーメッセージ	設定ファイルの読み込みに失敗しました。
原因	設定ファイルが壊れています。
対処方法	ファイルを修正するか、別のファイルを指定して下さい。

エラーメッセージ	設定の名前が入力されていません。
原因	設定の名前を入力していない状態で、設定を保存しようとしてしました。
対処方法	設定の名前を入力してから保存して下さい。

エラーメッセージ	差分列表示文字のテキストボックスに、文字が入力されていません。
原因	追加、削除、変更どれかの文字スタイルの表示文字が入力されていない状態で、設定を保存しようとしてしました。
対処方法	表示文字を入力してから保存して下さい。

エラーメッセージ	マニュアルファイルが見つかりませんでした。 新旧文書を再インストールしてください。
原因	マニュアルファイルがインストール時に指定したフォルダの中に存在しません。
対処方法	新旧文書を再度インストールすると、マニュアルファイルがインストールフォルダにコピーされ、マニュアルを開くことができるようになります。

以上